**３１年３月　平成３０年度弓友会総会結果について**

平成３１年３月３０日（土）、千葉工大津田沼校舎１号棟２０階で開催されたみだしの総会は、配布された２０１８年度弓友会総会資料に基づいて会長挨拶の後、担当者から順次説明がなされ、審議された。その結果、決定された事項等は下記３～５のとおり。

記

１　参加者（総会資料P１５参照）

（１）弓友会  
　　井上勝会長以下９名

　　　なお、第６回生（Ｓ４４卒）塚田英二が参加し、出席予定であった小沼隆史、名川雄眞は欠席した。

（２）弓道部  
　　両澤祐亮主将以下３４名

　　　なお、出席予定であった小川靖雄顧問は欠席した。

２　井上勝会長挨拶（要旨）

　　弓友会が発足して６年が経過したが、役員の高齢化等により年々、ほぼ毎月実施されている合

同練習会及び理事会への参加者が減少し、また会費収入も徐々に減少しており、このままではこの先のことを心配しているところである。したがって、今後更なる活動の活性化と会の継続のために、新しい風を入れるためフレッシュな若い世代へ役員を移譲して参りたいと考えており、会員の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

３　決定事項等

1. 役員改選（総会資料Ｐ３参照）

　　ア　学生担当理事の増員と就任（会則第８条関係）

学生担当理事として、第５４回生名川雄眞と第５５回生矢幡拓弥の２名が就任することについて承認された。なお、学生担当理事第４２回生小沼隆史の役職にＨＰ担当兼務とされているが、諸般の事情によりこの兼務は削除されることとなった。

　　イ　その他の役職の再選（会則第８条関係）

その他の役職については、原案通り再任されることについて承認され再選された。

（２）年度幹事（総会資料Ｐ３参照）

ア　年度幹事の選出（会則第６条第４号関係）

次の者を新規に選出することについて承認された。

第５２回生　平成２７年卒業　石田拓也

第５３回生　平成２８年卒業　岡本祐人

第５４回生　平成２９年卒業　小澤勇太

第５５回生　平成３０年卒業　蓑輪拓弥

第５６回生　平成３１年卒業　川路空夏

（３）平成２８年度　弓友会活動報告（総会資料Ｐ５参照）

　　ア　3.30　その他欄

　　　「射　会」　弓友会員（8名）、弓道部員（28名）

　　　　　・チーム優勝　25中／36射（Fチーム　井上勝、前田弘司、外山陸、岡明祥平、石井利来）

　　　　　・個人　優勝(前田弘司)、2位(小沼隆史)、3位(川路空夏)、7位(外山陸）、30位(中側真悠子)

　　　「総　会」　弓友会員（9名）弓道部員（25名）

　　　「懇親会」　弓友会員（9名）弓道部員（25名）

（４）千葉工業大学弓友会　会則（総会資料Ｐ１１～１３参照）

　　ア　改正案

（第６条関係）

　　　　　第４章　役員

　　　　　　第６条

　　　　　　　４　年度幹事　原則として各卒業年度別に1名

　　　　を

　　　　４　年度幹事　各卒業年度別に1名とし、原則として主将経験者が就任する。

　　　　と改正することが提案された。

　　　　　協議の結果、

　　　　　　　４　年度幹事　各卒業年度別に1名とし、同学年内で推薦された者が就任する。ただし、推薦される者がいないときは主将経験者が就任する。

　　　　と改正することで議決された。

（第８条関係）

　　　　　第４章　役員

　　　　　　第８条　役員の任期は原則３年とする。ただし、再選はこれを妨げない。

　　　　を

　　　　　　第８条　役員の任期は原則１年とする。ただし、再選はこれを妨げない。

　　　　と改正することが提案され、承認議決された。

４　２０１９年度事業計画（総会資料Ｐ１４参照）

1. 説明

井上勝会長から、８項目について事業計画の説明がなされ承認された。

1. 意見要望

６項目目の弓道部発足５５周年に関して「会員相互の親睦を深めるため、今年度を含め、５

年ごとに弓友会員が集合して、１泊２日で射会、懇親会、観光する機会を設けてはどうか。」との要望があり、反対意見はなく、今後、理事会で具体的に検討していくこととされた。

５　その他、質疑応答

1. ＨＰ担当

現担当の坂田理事から現役弓道部員にＨＰ担当を任せられないかとの意見があった。

検討した結果、会則上、現役に理事の仕事を持たせるには無理があるとのことで、更に協議

した結果、ＨＰ担当理事は坂田理事のままとし、現役で興味ある者を募り、坂田理事の補佐

役としてＨＰの作成を手伝うのがよいとなり、今後、補佐役について協議することとされた。

1. 役員と４年生部員の意見交換会

両者が意見交換できる場をつくり、卒業後の弓道や弓友会行事への参加などについて考えや

参加しやすい方法などを意見することを検討して貰いたいとの要望があった。

検討した結果、１１月の学園祭の際に時間場所を調整して行うのが良いのではないかとの意

見があり、今後、理事会で具体的に検討していくこととされた。

本件文責　記録担当理事　前田弘司